

2024年度実施プロジェクト一覧

① 森とゆかいな仲間たち

テーマ：道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出

② Peace Edu.

テーマ：太平洋戦時下の聴き取り調査・語り継ぐ活動

③ 学生消防サークル 長野大学分団

テーマ：長野大学生の消防団員人口を増やそう！！

④ itoma

テーマ：学生と地域のフラットなコミュニティの設立

⑤ 『てくてくうえだ』編集部

テーマ：上田で働く人を通して上田の魅力を探究・発信する冊子発行

⑥ たゆたゆふぁくとりー☆

テーマ：SNSを活用した地域企業のPR動画の制作・発信

活動報告(大学HP)



① 森とゆかいな仲間たち

テーマ：道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出

企業情報学部 森ゼミ9名が取り組みました。
ゼミで学んだ企業マーケティングの知識を活用しながら、
サスティナブル(持続可能)な事業展開を考えます。

道の駅「美ヶ原高原」の現状

- ・360度パノラマで、日本一高い位置にある道の駅
- ・気象条件により営業期間が限定
- ・アクセスが困難



道の駅「美ヶ原高原」にて

【課題】

道の駅「美ヶ原高原」のかかえる課題解決のため地域資源の活用
による新たな魅力創出

協働先：フジランド(道の駅「美ヶ原高原」運営会社)

【主なスケジュール】

- 5月 キックオフ会議
- 7月 道の駅「美ヶ原高原」現地視察・意見交換
- 8月 進捗報告会
- 9月 道の駅「美ヶ原高原」にてアンケート実施
- 11月 中間報告会
- 1月 「彫刻の森美術館」(箱根)視察
- 2月 上田地域の観光振興に向けた『道の駅』連携促進会議へ参加
信州上田学「成果発表会」
協働先に向けた最終報告会

【成果】実現に向けたコンセプトの提示

リアル展開に向けて7つの施策を提案しました。
今後、実現へ向けた検討・調整を進めて行きます。

② Peace Edu.

テーマ：太平洋戦時下の聴き取り調査・語り継ぐ活動

Peace Edu. は、2023年度まで山浦ゼミに所属していたメンバーが中心となって結成されたグループです。太平洋戦時下の聴き取り調査と次世代を担う若者世代に、どのように戦争の歴史を伝え平和な社会の構築に繋げていくことを考えます。

これまでの取り組み

2022年度：『[若者たちの伝言](#)』制作

2023年度：『[若者たちの伝言2023](#)』制作



つるや旅館(別所温泉)にて聴き取り調査

【課題】

戦後80年を迎える現在、当時を知る方々の高齢化が進み、直接お話を聞くことが困難となってきたなか喫緊に取り組む必要のある課題と言えます。

主な取材先

無言館、別所温泉つるや旅館(学童疎開受け入れ)
立教女学院資料室

【主なスケジュール】

5月：上田市内の戦争遺跡を訪ね、フィールドワークを行いました。

6月：聴き取り調査

7月：インタビュー：「残照館」館長の窪島誠一郎氏

9月：立教女学院での学童疎開調査

11月：松本の中学校で「平和を考える特別授業」を行いました。

上田市戦没者追悼式にて、平和メッセージを発表

坂城町講座にて語り継ぐ活動

11月～1月：原稿執筆・まとめ作業

【成果物】調査・研究のまとめ

調査の成果をまとめた記録集『[若者たちの伝言2024](#)』を発行

市内の小中学校、図書館、公民館へ配布

記録集を活用して、市内の学校で「語り継ぐ活動」を実施しました

③学生消防サークル 長野大学分団

テーマ：長野大学生の消防団員人口を増やそう！！

上田市消防団に所属している学生を中心に、学生消防サークルが設立されました。学生団員を増やすための取り組み(SNS運用や学内での広報)を信州上田学事業のなかで実施しました。

- ・学生消防団サークルの設立
公認サークルということで活動がしやすい。
りんどう祭やサークル説明会への参加。
- ・消防団へ繋げるルートの構築
消防団サークルを通して、消防団の活動に触れることができる。



NBS長野放送より、取材を受けました。

【課題】

全国の消防団員数は年々減少しており、消防団員の確保が課題となるなか、団員のなり手として学生が注目されています。

協働先：上田市消防団

【主なスケジュール】

7月：学生消防サークル「長野大学分団」設立(大学公認)

8月・9月：りんどう祭ブース出展に向けての準備

10月：「長野大学分団」[Instagram](#)開設

りんどう祭ブース出展

(DIG訓練・アンケート・非常食バッグの配布など)

学内避難訓練参加と防災パネル展示

11月・12月：長野放送「みんなの信州」取材・OA

1月：信州大学学生団員との交流会、入団希望者詰所見学

【成果物】広報ツールとして作成

サークル紹介ちらし、学生消防サークルロゴの制作

非常食バッグ(アルファ米おにぎり・クッキー・ペット水)

④itoma

テーマ：学生と地域のフラットなコミュニティの設立

長野大学の学生7名で運営するitomaは、地域とつなぐイベントを企画して行っています。

様々な属性を持つ地域の方と学生たちが、気軽に交流できるコミュニティを学生主体でつくっていきます。

市内すべての学生たちが繋がりを持つきっかけになるイベントを開催します。

信州上田学事業のなかで大学生が学生同士(他大学含む)、地域の方々と交流できる、また自身の活動に挑戦できる場としての拠点づくりに取り組みました。



アンケートボード掲示(正面玄関)

【課題】

上田に居住・通学している学生が多数いる一方で、実際に地域の方と関わる機会や地域のものに触れる機会が少ないと感じている学生たちがいます。

長野大学の学生で、地域活動に関心を持っている学生、学生同士で交流を広げたいと思っても学校以外の時間は、関わるきっかけを持つのは難しいという声がありました。

協働先：市内の大学生・地域の方々

【主なスケジュール】

6月：大学生交流会

8月：アンケート調査(正面玄関前に掲示)

10月：期間限定復活祭(大学生が対象)

コワーキングスペースの運営とイベント開催

12月：お悩み相談会(地域の方が対象)

【成果物】

成果報告会にて、今後の展望として、上田市に持続的な交流拠点づくりに向けた提案をしました。

⑤『てくてくうえだ』編集部

テーマ：上田で働く人を通して上田の魅力を探究・発信する冊子発行

企業情報部の鈴木ゼミの3年生が中心となって、これまでにタウン誌『てくてくうえだ』を5冊発行してきました。

2024度は、『てくてくうえだ』企業版を制作しました。学生たちはコンセプト決めから取材・執筆、冊子のデザインを行います。

上田市での就職を考えている学生をターゲットに上田地域の魅力ある企業を紹介します。

協働先：地元カンパニー、R&Cながの青果、松山
上田乗馬倶楽部、焚火 SKETE SHOP、Tee.



R&Cながの青果にて、インタビュー

【課題】

上田の地域内就職率の向上は喫緊の課題となっています。多くの企業が学卒人材の確保をはじめ、若年者雇用と人材定着に課題を抱えています。

【主なスケジュール】(アポ取りなど日程調整も学生が行う)

4月・5月：コンセプト決め

5月・6月：取材先選定 7月～10月：インタビュー実施

10月～12月：記事執筆・紙面作成(Illustratorでデザイン)

1月：発行・配布

上田市へ500部贈呈しました。

2月：ハローワーク上田200部贈呈しました。

就活フェアなどで配布予定

【成果物】取材記事をまとめ

『てくてくうえだ』信州上田学特別号3』を発行

まちなかキャンパスうえだ、ハローワーク上田、市内図書館、公民館、上田女子短期大学などへ配布しました。

⑥たゆたゆふあくとりー☆

テーマ：SNSを活用した地域企業のPR動画の制作・発信

たゆたゆふあくとりー☆は、企業情報学部3年生4人のグループです。

グループ名はメンバー4人の名前にちなんで名付けました。

制作したショート動画をSNSで発信、上田市にある企業の魅力を学生目線で伝えて行きます。

- ・昨今トレンドになりつつあるスマホの縦画面で見るリール動画に着目。
- ・リールは若年層に好まれる傾向があるため、就活を控えた大学生を含めて訴求効果が期待。



生産者さんへのインタビューを撮影
(R&Cながの青果)

【課題】

上田の地域内就職率の向上は喫緊の課題となっています。
多くの企業が学卒人材の確保をはじめ、若年者雇用と人材定着に課題を抱えています。

協働先：地元カンパニー、R&Cながの青果、松山

【主なスケジュール】(アポ取りなど日程調整も学生が行う)

7月～8月：動画のテーマ決め、企業ごとヒアリング

企業からのフィードバック、フィードバック対応

10月～12月：動画撮影・取材・インタビュー

1月～3月：動画編集・動画制作

【成果物】ショート動画の制作

現在動画制作中です。

今年度の協働先の3社を学生たちが面白いと感じる切り口から取材しました。

企業様ごと特色のある動画を制作し、動画は、InstagramやTikTokで発信する予定です。